

とねしょうかわらばん

6月 15日版

林間学舎行ってきました！(5年生)・・・2日目

2日目の朝目覚めると、外はいいお天気、部屋の窓からはきれいな琵琶湖が眺められました。どの部屋からも琵琶湖が見られるレイクビューでした。



湖畔の芝生広場に集まり、**朝の集い**です。空と湖の青、山や木の緑、朝の光、眩しく美しいその景色に癒される子ども達も多かったのではないのでしょうか。また、みんなで少し目を閉じて、周りから聴こえてくる鳥の声に耳を傾けるひと時もありました。自然の中に包まれるこちよさも感じられたと思います。ラジオ体操をして、心も体もしっかり目覚めたようです。

朝の集いの後の**朝食**もしっかり食べることができていました。前日の夜、食べ過ぎて、あまり食べられないという子もいましたが。

次は、**部屋の掃除、片付けと荷物整理**です。ささっと終わらせてしまう部屋もあれば、荷物が5つにも6つにも分かれてまとめられない、片付かないという部屋もありました。布団のシーツをつけたり、外したり、布団を畳んだり、という経験することは今ではあまり経験することがないでしょうね。自分の荷物整理、管理はこれからも必要な技術になると思うので、しっかり身につけていきたいですね。沢山の忘れ物や落とし物もありました。全部持ち主に返っているといいのですが。



2日目の活動は、**飯盒炊爨でのカレー作り**です。これはどのグループもなかなか悪戦苦闘していました。まず、火をつけることが一苦労です。指導員や先生達に教えてもらいながら、うまくできたグループを見ながら、なんとか火をつけても、すぐに消え、何度もチャレンジしているグループも多かったです。火がついたら、消えないようにタイミングよく、薪を足していかないといけません。煙が目にしみて、大変な作業になっていました。



カレーの方は、玉ねぎを切って目にしめたり、作り方が分からず水の中にルーを入れてしまったり、初めて作る子たちも多いようでした。しかし、グループのみんなで「こんな感じにきるんじゃない?」「いいやん。」等々、相談しながら進めていました。

ご飯は、水の分量が難しそうでした。説明では、「お米の上に中指の第一関節と第二関節の間位の水を入れる。」と言われたのですが、先にその水を入れて、後からお米をいれてしまい、炊き上がってからご飯がかたすぎてしまったグループもありました。



おいしくできたグループ、そうでもないグループ、さまざまでしたが、テント前のテーブルでグループごとにいただきました。少人数なので、対面ですが、距離を取り、黙食です。



↑この写真のグループは、うまくできているようです。自慢げに見せてくれました。美味しそう!!みんなおかわりもたくさんしていました。お鍋いっぱいのカレーがいつの間にか空になっていました。

満腹になった後は、後片付けです。これも慣れない手つきで苦戦している子どもたちが多かったです。でも、最後まで丁寧に鍋や飯盒を洗い、がんばりました。この場所から下りて行ったら、道具を返す場所があるのですが、そこでチェックを受け、やり直すということもありましたが、全員無事に終えることができました。やはり、普段学校ではできない体験をたくさんすることができたようです。

近江八幡休暇村での2日間の活動はこれで終わりです。みんな疲れて帰りのバスではぐっすりと眠っている子が多かったです。学校の解散式では、2日間の成長を褒められていました。自分で考えて行動したり、5分前行動ができるようになったり、これからの学校生活で必要な力が少しずつ身についたようです。今後の5年生の成長ぶりが楽しみです。

